

# べんからごうし



第9号

編集・発行

社会福祉法人 京都市中京区社会福祉協議会

〒604-8316 京都市中京区大宮通御池下る三坊大宮町121-2 TEL.075-822-1011

1998年8月発行



## ● 未来の ● ● 子どもたち ● : 中京保育研究会長 内海 一乗

### 21世紀の最大の課題——日本の繁栄の影に——

日本は今、超少子・超高齢社会を迎え二十一世紀に大きな不安を覗かせている。とりわけ京都の少子化は、東京都に次いで出生率一・二七%と、ワースト第二位という悪い結果が出ている。ある学識者の調査に依れば、わが国の出生率がこのまま推移するならば、二十三世紀前半には日本人はこの国土から消滅するといわれている。まことに由々しき問題ではありませんか。

そもそも少子化の原因は、「子どもが育てにくい社会だ」と言われている。理由の第一は「金がかかり過ぎるから」というのである。しかし本当にそうなのでありましょうか。わたしは、失礼ながら「金をかけ過ぎている」ように思えてなりません。そして厚生省が実施した親の意識調査を見ても「子育てが楽しい」と答えた人はフランスで七七%、イギリスで七一%、アメリカで四一%、日本では最低の二一%というのですから、決して育児・教育費用の負担だけが少子化の原因ではないような気がします。

加速度的に少子化問題が進行する渦中、ある国際教育シンポジウムでの発表の一部ですが、中国・韓国・英国・米国・日本の小学五年生の調査に依れば「親が年をとって歩けなくなったらどうするか」という問いに、日本の子どもの二四・一%が「老人ホームに入れる」と答えたというのである。英国の二五・八%に次ぐ数字だが、中国の〇・九%、韓国の〇・四%とは、けた違いである(朝日新聞・天声人語より)。親は子に多額のお金をかけながら、子に報われないのは何故でしょうか。

現代日本は戦後急速なスピードで発展を遂げました。その結果、物質的には恵まれながらも「自分だけは…」「わが子だけは…」という利己的な人間が多くなり、生活は豊かになったものの人間として心の成長がおろそかにされてきたような気がします。いずれにしても人間としてこの世に生を享け、万物の霊長と称される我々は子孫繁栄の責任を我々の義務として真剣に考えるべきではないでしょうか。

# づくりを推進します

## 福祉協議会事業の概要

高齢者にやさしい  
まちをつくる

### 高齢者ミニデイ サービス事業

心身機能の低下した高齢者の健康増進と家族の介護を支援するために、毎週月・水・金曜日にボランティアの方々の協力を得て、デイサービス活動を実施しています。

年間の延利用者数 1287人（平成9年度実績）



ミニデイサービスで  
楽しいひととき

### ふれあいいきいきサロン事業

高齢者の健康増進と交流をはかるために、毎月1回、ボランティアの方々の協力を得て、レクリエーション活動を実施しています。

年間の延利用者数 244人（平成9年度実績より）

### 介護家族の会の育成事業

本年6月に発足した「中京区介護家族の会」の活動を育成・支援していきます。

現在108名の介護家族が入会

障害について  
理解を深める

### 視覚障害者支援 ボランティア入門講座

視覚障害について理解を深めるために、関係団体の協力を得て、支援ボランティアを育成するための入門講座を開催します。

### 手話ボランティア入門講座

昨年度に引き続き、聴覚障害者協会中京支部と手話学習会みみずく中京支部の協力を得て、開催します。

### 心の健康 増進活動

聴覚障害者協会中京支部の皆さんの指導で手話を学んでいます



精神障害について区民の方々の理解を深め、社会参加をはかるために本年3月に発足した中京精神保健ネットワークの諸活動を支援していきます。

次代を担う  
子供を育てる

### 青少年の福祉体験事業 （ユースアクション）

中学生・高校生を対象に、2〜3日、高齢者・児童・障害者の各福祉施設において、利用者との交流を行い、その体験を通して福祉の心を学んでいただきます。

平成10年度の参加者数 30人



高齢者福祉事業に参加した中学生の皆さん

### 世代間交流事業

児童と高齢者のふれあいをはかるために、小学校区での世代間交流事業や児童館・保育所と連携した交流事業を促進していきます。

# 誰もが住みよい地域

## 平成10年度中京区社会



**ボランティアセンター事業**  
 各種ボランティア入門講座をはじめ、ボランティア活動に関する相談、活動紹介・斡旋、ボランティアアグループの育成、ボランティア活動機材の貸し出し、ボランティア保険の取り扱い等、ボランティア活動の拠点としての事業に取り組んでいます。  
 相談件数 129件（平成9年度実績より）  
 ボランティア活動斡旋件数 35件（同上）

ボランティア活動に関心を高める

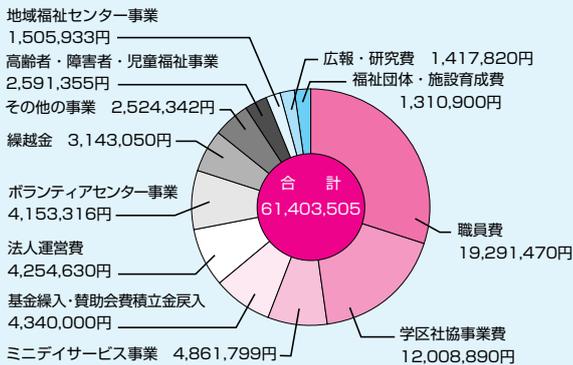
**学区社会福祉協議会活動の育成**  
 各学区の社会福祉協議会の地域福祉活動がより充実・発展されるよう小地域福祉活動活性化委員会を設け、推進方策について検討していきます。  
 各学区社会福祉協議会において「学ぶ」「ふれあう」「支える」といった3分野の取り組みを推進するために学区社協総合推進事業の実施を促進していきます。



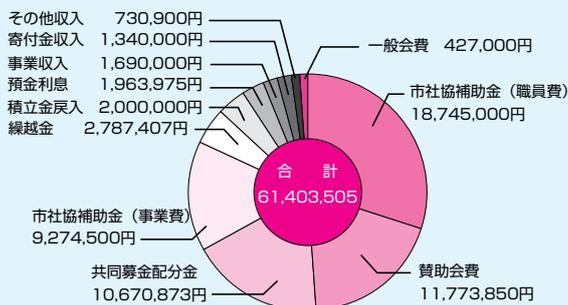
本能学区社協のまちづくり点検活動

身近な地域での福祉活動を育てる

### 支出



### 収入



中京区社会福祉協議会  
 一般会計決算のご報告

平成9年度

# ●●● 賛助会員の輪が広まってきました ●●●

## 平成10年度賛助会費へのご協力ありがとうございました

総額 一〇、九六二、一九九円  
(平成十年七月末日現在)

賛助会費にご協力を賜り誠にありがとうございました。この賛助会費は、中京区内の地域福祉をより発展させるために、区民の皆様にご協力いただいているもので、平成10年度は総額一〇、九六二、一九九円となりました。ここに謹んで、区民の皆様にお礼とご報告をさせていただきます。

この賛助会費は、平成7年より毎年お願いいたしておりますが、これまでには「賛助会費って何」とか「何に使うのか」といった声が区民の皆様からありました。しかし、毎年お願いさせていただいている中で、徐々にご理解も深まり、ようやく区民の皆様には「賛助会費が地域福祉に有効に活用されていることが分かった」といつていただくようになりました。

少子・高齢化が進捗し、誰もが地域で安心して住めるまちづくりをすすめていくために、今後もよりいっそう社会福祉協議会の地域福祉活動にご支援・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

なお、平成10年度の賛助会費につきましては、下表の予算により2〜3ページに掲載しております事業に活用させていただきますことをご報告申し上げます。

## 中京区介護家族の会が できました

高齢者を介護する家族なら、介護の苦労や悩みが分かち合える、元気づけられる、支え合えられる、そんな思い・願いが多くの介護家族の方々からもち上がり、中京区社会福祉協議会が各学区の社会福祉協議会や民生児童委員会のご協力を得て、区内の介護家族の皆様呼びかけて出来たのが「中京区介護家族の会」です。現在の会員数は、108名です。去る6月11日(木)には、「中京区介護家族の会」発足総会が開催されました。当日は、午後1時30分より中京区地域福祉センターにおきまして、40名の介護家族の方々に出席いただき、発足にいたるまでの経過報告の後、会則や平成10年度の取り組み、世話人の選出等について話し合わせ、正式に会として発足しました。

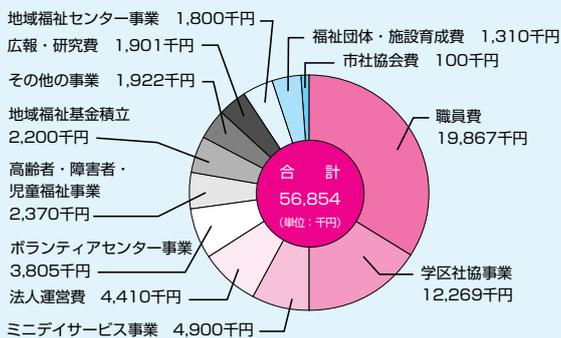
会の当面の取り組みとしては、介護家族の現状や要望をとりまとめるとともに、交流や研修等を通して、家族相互の連帯と共感を深めていきたいと考えています。ひとりで悩まず、ひとりで抱え込まず、みんなで考え、助け合えば、きっと介護に対する理解や支援が広がっていくはず。

まだ、未加入の介護家族の方には、ぜひこの機会に介護家族の会にご加入いただきますようお願いいたします。

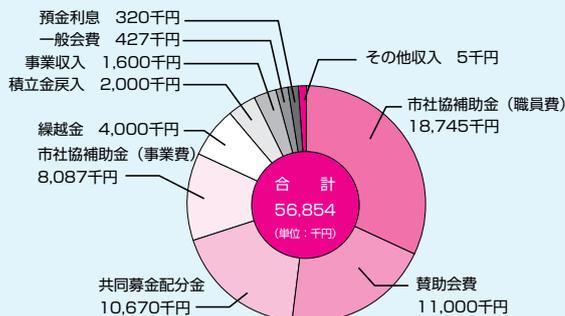
お問い合わせは、中京区介護家族の会事務局（中京区社会福祉協議会事務局 08222-1011）までご連絡ください。



### 支出



### 収入



## 中京区社会福祉協議会 一般会計予算

平成10年度



ボランティア活動と言ってもさまざまな活動があり、自然環境・美化活動もその一つです。具体的には、河川の清掃や森林保護のためのリサイクル活動などがこれにあたります。

その中でもリサイクル活動は、スーパーなどで牛乳パックやトレイの回収ボックスを設置するところが増えたり、地域で廃品回収に取り組むなど、活発に行われています。回収されたペットボトルは繊維製品やプラスチック容器として、牛乳パックや新聞紙などは再生紙として生まれ変わります。

生まれ変わります。

エコマークは、新聞紙などからリサイクルされた再生紙を使った商品に多くつけられていますが、エコマークの対象となる商品は、再生紙を使用したものだけではありません。製造・使用・廃棄段階で、他の同様の商品と比較して、環境に負担を与えない。その商品を利用することで、環境の負担を軽減できるなど環境保全に寄与する効果が大きい物（洗剤・石鹸・ゴミ袋・トイレットペーパー・包装容器・衣類）などにつけられています。

スーパーなどに行ってエコマークのついている商品で、使い勝手に不自由がないのであれば、購入してみてもいいですか。「環境に良い」商品を選択することは、環境保全に大いに役立ちます。

中京区ボランティアセンター  
登録ボランティアグループ一覧

(登録順)

名称	主な対象	主な活動内容
○このゆびとまれの会	幼児から小学生	読み聞かせ・おたのしみ会等
○ボーイスカウト洛中地区	児童	児童の健全育成
○地域福祉を考える会	高齢者等	配食サービス等
○いきいき会	高齢者	別載
○花みづきの会	高齢者	別載
○中京区を美しくする会	環境	清掃活動
○わいわいネット	視覚障害者	音訳・点字・代読等
○じゅらくっこ	児童	障害のある児童の介助等



上記、登録グループの詳細をお知りになりたい方はセンターまで、ご連絡ください。また、ボランティアセンターでは、登録グループを広く募集しております。登録をお願いいたします。

情報提供のお願い

中京区ボランティアセンターでは、皆さんからの情報を募集しています。

ボランティアグループの会員や施設ボランティアの募集など、ございましたらセンターまでご一報ください。

個人登録者求む

ボランティアセンターには、毎日のように、ボランティアに来てほしい、協力してほしい、といった問い合わせが入ってきます。しかし、まだまだ個々のニーズに対応できるだけの活動希望登録者が確保できていないのが現状です。

登録は、カードに記入するだけと簡単なものですので、ボランティア活動に関心のある方は、是非ご連絡ください。お待ちしております。

社会  
福祉法人

京都市中京区社会福祉協議会  
中京区ボランティアセンター

TEL. 822-1011  
FAX. 822-1829

# 中京区社協の ふれあいいきいきサロン



- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 4月 神泉苑の花見      | 10月 牛乳パックで箱づくり  |
| 5月 色紙のこいのぼりづくり | 11月 動物園へ遠足      |
| 6月 交通安全教室      | 12月 防火教室・ケーキづくり |
| 7月 ビーズの白鳥づくり   | 1月 福笑い          |
| 8月 夏休み         | 2月 かざぐるまづくり     |
| 9月 折り絵         | 3月 ドラ焼きづくり      |

平成10年度も、楽しい内容で開催しておりますので、高齢者の皆様のご参加をお待ちしております。希望者は、事前に事務局までご連絡ください。

中京区社会福祉協議会では、中京区地域福祉センターにおいて、ボランティアさんや在宅介護支援センター丸太町病院の協力を得て、区内の65歳以上の高齢者を対象に、平成7年度より毎月1回、ふれあいいきいきサロンを実施しています。この事業は高齢者の在宅生活にうるおいと活力をもってもらうことを目的に、創作活動やレクリエーションなどをおこなっています。

平成9年度は、下記の内容でおこない、年間240名余りの参加者に楽しんでいただきました。



## いきいき会会員募集

いきいき会は、自分も楽しみながらボランティア活動ができるグループです。

活動日は、毎月11日（土・日・祝日の場合は翌日）「サロン当日」の午後1時から午後4時頃と第4木曜日の「企画会議」午後1時30分からです。その内、ご都合のつく時で結構ですので、ご参加いただけませんか。詳細はボランティアセンターまで。



毎月のふれあいいきいきサロンの内容は、月1回開催するいきいき会企画会議で決められます。企画会議にメンバーはそれぞれに工夫した企画を持ち寄り、その中から良い案があれば決まりますし、なければ当日にいろいろな意見の中から、どういった企画が高齢者に最も喜んでいただけるのか、頭をひねりながら決定します。

サロン当日に「こんな企画でよかったやろか」と不安げに参加している方の顔をうかがいながら進行する、メンバーの人柄の良さが伝わってきます。

また、いきいき会は8月10日に西京区のふれあい会館で研修会を開催するなど、メンバー自身の資質の向上にも力を入れています。



ボランティアグループ  
いきいき会

# センターから地域へと つながり 広がる

## 花みづきの会



中京区社協の「高齢者ミニデイサービス」事業も発足から早いもので、1年9カ月が経過しました。この間、「花みづきの会」会員であるボランティアの方々には、地域福祉の担い手としてミニデイサービスをしっかり支えていただいております。

このミニデイサービスを通して利用者とボランティアの方々の温かいつながりは、目に見えて深まり広がってきています。ボランティアさんの個々の熱心さと優しさが利用者さんの心を満たし、また、ボランティアさんは利用者さんの温もりに触れたり、それぞれのご経験を教えていただくなかで、豊かな人間関係が生まれてくるようです。

そして、このミニデイサービスを拠点とし、温もりの輪は地域に広まりつつあります。中京区は、お一人暮らしや高齢者夫婦世帯の多い町ですが、身体が自由がきかなくなってきたり、痴呆の心配がでてきたりとそのお年寄りの姿を日常地域で見かける中で、ボランティアで養われた広い心でその方と接点を持ち、このセンターにボランティアさんから情報が入ってくることも増えました。ミニデイサービスを紹介されたり、あるいは地域ボランティアが支えているという和やかさが評判を呼び、利用したいという声は後を断ちません。利用希望者は今後増える一方だと思われまます。

この事業をますます充実させていく必要性を感じると共に、ミニデイサービスで行うレクリエーション活動等を「花みづきの会」から発信し、小地域でどんどん活用され、ふれあいサロン等が広まっていくことを期待しているところです。

### ボランティアさんの声

我が子も大きくなり時間的にも余裕ができ、主人もボランティアに行く事には多に賛成し、又、私自身の思いに理解してくれているのでミニデイサービスには喜んで来させてもらっています。

その中でいつも感じていることは、さすが「亀の甲より年の功」で、私はお世話をしている立場だけれど利用者の皆さんのひとつひとつのことばに、「あ～そうやなあ」とか「こういうように歩まなければならないなあ」とか、自分の生きる道を教えてもらい、それ以上のプラスになっています。

私の趣味でもあるちぎり絵を皆さんと一緒に取り組んだとき「初めて出来てうれしい!」「仏壇の主人に見てもらいます…」などのことばを聞くと、やらせてもらってよかたなあところもハリがあり、又、生きがいを感じます。

私の親がよく「お金を積んでもだめ、徳を積まなあかん」と言いました。「徳」というのは喜んでもらえることですが、喜んでもらえることが何よりうれしいです。

ミニデイサービスは、利用者とボランティアという立場や状況がちがってもお互いが生きている中で参考になることが見つかり素直に接し合えるところです。気持ち素直になれるということは心からやすらぎを覚えすばらしいことだと日々感じております。

## 利用者の生活の場とミニデイサービスの笑顔をつなぐ

### 運転ボランティア募集中

利用者さんの日々の声、連絡帳、また俳句や七夕の短冊には、現実の我が身を見つめる中での切なる想いが伝わってきますが、ご家族からの情報、車内でこぼれる本音も現実の生の声です。そのニーズをつかみ、今後の高

齢化社会の福祉に役立つ大きな力になっていただくためにも、また、より一層の豊かな事業発展のため、運転ボランティア、及び送迎介助ボランティアを募集しております。

生活の実現を見つめつつ、ミニデイサービスから帰る車中では、皆さんそろって前向きな気持ちになられ、お元気に帰られる姿には、誰もが励まされ心の中に温かいものが残ります。

# 介護保険シンポジウムのお知らせ

ご承知のとおり、平成12年4月から介護保険制度が実施されます。この制度によって、高齢者の介護や負担がどのように変わるのか、といった大きな関心と不安が集まっています。

そこで、このたび介護保険制度の仕組みを学び、福祉・医療・区民の各分野の方々によるディスカッションを交えて、制度の課題や理解を深めるために、下記のとおりシンポジウムを開催いたします。

つきましては、多くの区民の皆様にご参加いただきたく、ご案内いたします。

## 内 容

### ①介護保険制度の説明

説明：京都市民生局介護保険準備室

担当課長 白須 正氏

### ②パネラーによる報告とディスカッション

コーディネーター／

佛教大学教授 浜岡 政好氏

パネラー／

特別養護老人ホーム

「壬生老人ホーム」施設長

柴林 俊男氏

中京西部医師会介護担当理事

田中 善紹氏

中京区ミニデイサービス

チーフコーディネーター

三木 勉氏

中京区介護家族の会

諸頭 博子氏

### ③質疑応答

### ④助言とまとめ

## 日 時

平成10年9月12日(土)  
午後1時30分～4時

## 会 場

京都アスニー  
4階ホール

(中京区丸太町通七本松西入る) 370席

参加費／無料

参加受付／当日、直接受け付けいたします。



主 催／京都市、京都市社会福祉協議会、中京区社会福祉協議会、中京東部・西部医師会、中京区民生児童委員会